

「宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画」の平成29年度の実績と
平成30年度の実績予定について

1 「宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画」の概要について 参考資料2

2 平成29年度の実績と平成30年度の実績予定について

(1) 実績内容 別紙1 「自転車のまち推進計画後期計画」の実績内容一覧)

(2) 活動指標の状況

柱	指標	基準値 (H27年度)	平成29年度末見込み	目標値 (H32年度)
I 安全	自転車走行空間の整備延長（市道のみ）	21.7km	40.0km（18.3km） ^{※1}	57.7km
【進捗評価】	・国庫補助を積極的に活用し、着実に整備延長を伸ばすことができた。			
II 快適	中心市街地における駐輪場の年間利用者数	253,094人	278,000人	282,000人
【進捗評価】	・指導員による駐輪場利用の周知啓発活動や放置自転車対策などの取組により、利用者数は増加傾向にある。			
III 楽しく	宮サイクルステーションの年間来館者数	5,692人	6,200人	6,200人
【進捗評価】	・指定管理者とともに施設を積極的にPRするなどの取組により、利用者数は増加傾向にある。			
IV健康とエコ	事業の具現化を検討する中で指標を含めて設定			
【進捗評価】	・自転車を利用した健康促進や環境負荷低減の取組みの具現化に向け、検討しているところである。			
V つながる	駐輪場整備箇所数 ・バス停付近	7箇所	9箇所（2箇所） ^{※1}	13箇所
	・LRT停留場付近	LRTの供用開始に合わせ、全ての停留場付近に駐輪場を設置する。（15箇所）		
【進捗評価】	・バス停付近の駐輪場については、民間施設の協力により、2箇所整備し着実に増加している。 ・LRT停留場付近の駐輪場設置については、事業の具現化を検討する中で指標を設定するとしてきたが、新たに民間施設の協力も含め、全ての停留場付近に駐輪場を設置する方針とした。			

※1（）内の数値は後期計画期間内の実績

【総合評価】

- ・ 自転車走行空間やサイクリングロードの整備など自転車が安全で快適に通
行できる走行空間の整備延長が伸びているとともに、休憩スポットとなる「自
転車の駅」やバスと自転車の利用促進につながる「サイクル・アンド・バス
ライド用駐輪場」が増加するなど、自転車の利用しやすい環境整備がより一
層進んでいる。
- ・ 子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層に対して、自転車利用の楽しさや
交通ルール・マナーの向上を図るための各種交通安全教室や安全運転を呼び
かける街頭指導の実施，安心して自転車に乗れるように自転車損害賠償保険
の加入促進や自転車用ヘルメット着用の普及啓発などが計画的に行われるな
ど，市民への交通安全に対する意識向上が着実に図られている。
- ・ ジャパンカップサイクルロードレースやシクロクロス，ツール・ド・とち
ぎなどの自転車競技やサイクルイベントなども開催され，多くの観客が訪れ
ている。また，各方面からのジャパンカップコースへの誘導案内や自転車マ
ップに掲載しているサイクリングルートも充実してきていることにより，サ
イクリストが増加するなど，誘客促進が図られているとともに「自転車のま
ち」のPRにも寄与している。
- ・ 自転車の走行距離等に応じてポイントを付与し，貯まったポイントでサー
ビスや特典が受けられる「健康ポイント事業」の実証事業を実施するなど，
自転車を利用した健康増進の取組みの具現化に向け検討が進んでいる。
- ・ 中心市街地の駐輪環境向上や自転車通勤促進の取り組みなど，事業化に向
けて着実に検討が進んでいる。